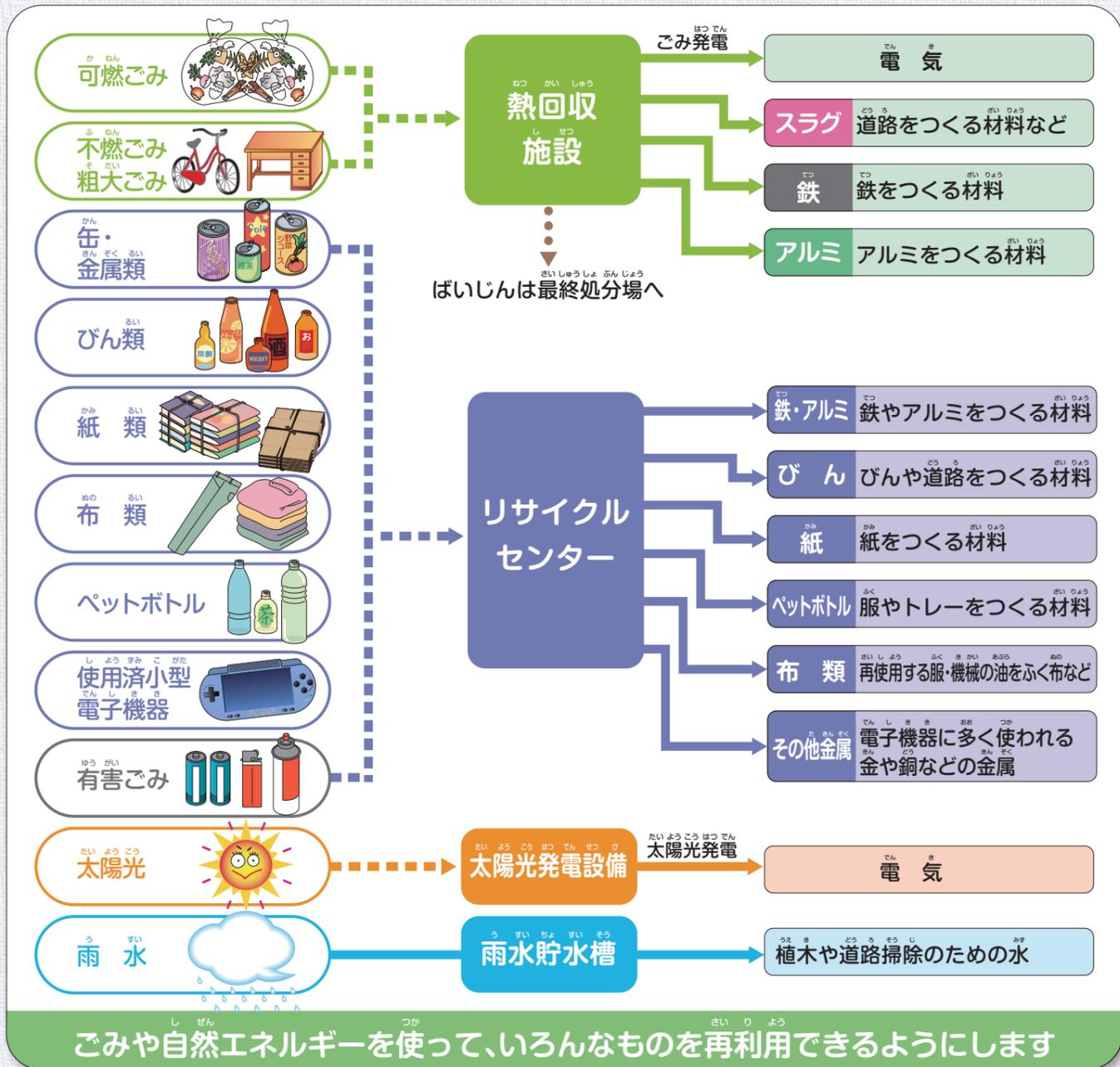


熱回収施設・リサイクルセンターのやくわり



西秋川衛生組合

熱回収施設・リサイクルセンター



みんなで考えよう「ごみのお話」Q&A

- Q1** ひとり1日どのくらいのごみを出すの?

A1 約800gです。使えるものは最後まで使い、ごみをみんなで減らしていきましょう。
- Q2** この施設で1日にどのくらいのごみが燃やせるの?

A2 117トンです。
- Q3** 蒸気タービン発電機でつくる電気1900kWは1日で何軒分の電気?

A3 約4560軒分になります。
- Q4** 3Rって何?

A4 リデュース・リユース・リサイクルの3つの英語の頭文字です。「ごみを減らすこと。使えるものは最後まで使うこと。種類ごとに分けて出すこと。それぞれの材料として利用すること。これがこの英語の意味ですが、みんながこの3Rをすることできれいで地球にやさしい社会となります。」



集められたごみは、こうして処理されます。

熱回収施設のしくみ



大きなとびらが4つあって、ここからごみを投入します。



500℃～600℃の砂が入っており、ごみを蒸し焼きにします。



空気を吹き込んで1250℃くらいまで温度をあげて、灰を溶かしスラグにします。

蒸気のできる熱リサイクル。

発電

施設の機械に異常がないかなどをコンピュータで24時間監視します。



中央制御室



蒸気タービン発電機

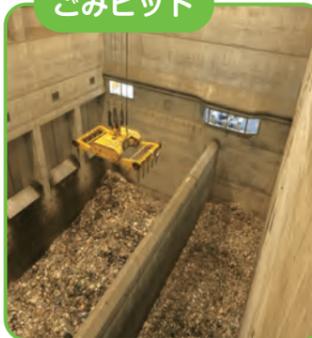
最大で1900kWの電気を作ります。

可燃ごみ・掘り起こしごみなど



ごみの重さをはかります。

ごみピット

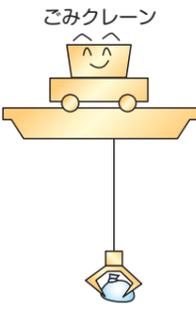


2つのピットをあわせて、約2週間分(1600トン)のごみをためることができます。

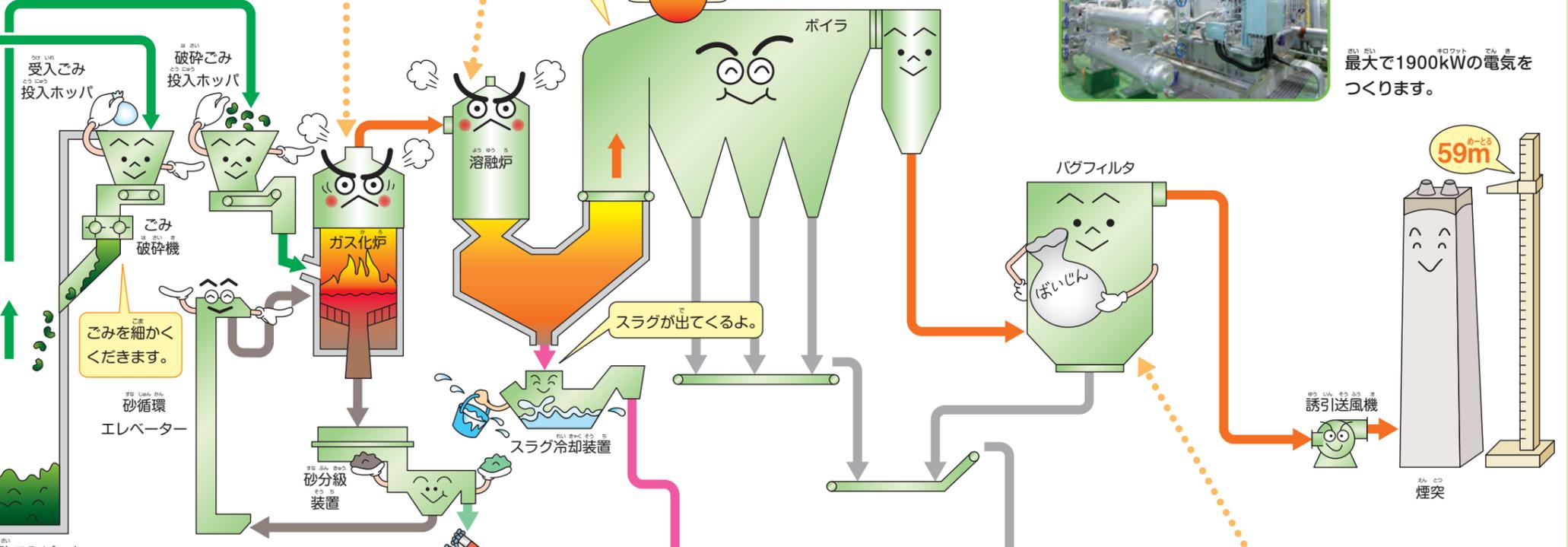
不燃ごみ・粗大ごみ



不燃・粗大ごみ 受入貯留ヤード



ごみクレーン



袋フィルタ

ろ布という筒状のフィルタで、ばいじんを取ります。